

西村栄さんが最優秀賞を獲得
津別仏教振興会「写真コンテスト」

9月8日、順誓寺で家族の絆をテーマにした写真コンテスト（津別仏教振興会主催）の表彰式が行われ、128点の応募作品の中から仏教振興会会長賞に西村栄さん（共和在住）の作品「ねむれよいこよ」が選ばれました。
今回の作品は長女が住む札幌へ遊びに行ったときに初孫の美季ちゃん（当時小学2年）が、うたた寝をしている西村さんに耳そっじをしてあげているとてもほのぼのとした作品です。各審査員からも高い評価を受けていました。
受賞した西村さんは「入選するなんて信じられません。この写真は居間に飾り毎日見ているお気に入りなので本当につれいれたいです」と笑顔で話してくれました。



表彰状を受け取り笑顔の西村栄さん・百合子さん



最優秀賞に選ばれた西村さんの「ねむれよいこよ」

「みんなですすめる交通安全」
全国キャラバン北海道隊来町



田西隊長からメッセージを受け取る佐藤町長

「全国キャラバン北海道隊」（隊長 田西喜代北海道交通安全母の会会長）の一行8人が網走管内を巡回し、8月28日津別町を訪れ、交通安全の一層の推進を呼びかけました。
林業研修会館での伝達式には交通安全協会や青葉幼稚園児などが出席。田西隊長が、交通安全は家庭からという運動を地道にやっていきたい」と話した後、内閣府特命担当大臣からのメッセージを佐藤多一町長に手渡しました。
佐藤町長は「職場や地域とともに交通安全に努めます」とあいさつし、交通安全に関する決意をしたためた色紙を田西隊長に手渡しました。また田西会長から青葉幼稚園児に交通安全の紙芝居が贈られました。

8月30日から9日間、留学生夏期ホームステイ受入事業が実施され、津別町国際交流協会（松平範慶会長）は韓国、台湾、中国、タイから7人の留学生を受け入れました。

留学生たちは小中学校の訪問や受入家庭と一緒に観光地巡りなど楽しみ、忘れられない思い出を作りました。
最後の夜となった9月6日は、でてこいランドでホームステイお別れ会が行われ、留学生が韓国風のお好み焼きチジミ、水餃子、エヒチリ、生春巻き、台湾式チャーハンなど故郷の料理を作り、受入家庭と一緒に食卓を囲み、カラオケや津別での思い出を語り合いました。



でてこいランドでお別れ会
留学生が津別町でホームステイ

津別ソフトテニス少年団が大活躍
ゴーセン杯全道小学生大会で優勝



8月26日、当麻町で開催されたゴーセン杯全道小学生大会で津別ソフトテニス少年団の上杉昌輝・細川源生組が5年生男子の部で初優勝に輝きました。
女子では植松日南子・寺尾麻梨奈組が5年生女子の部で3位、加藤千花・佐藤梨緒奈組が4年生女子の部で3位に入賞する活躍を見せました。
男子組は予選リーグを3戦全勝で勝ち上がり、決勝トーナメントも札幌と静内の混合チームを3対1で破りました。上杉君と細川君は「優勝はうれしかったけど河野斗夢・佐藤雪路君組に勝って優勝しかったです」「大きな大会で優勝できてうれしかったです」とそれぞれ感想を話してくれました。



ジュースを飲んで休憩中！



威勢のよいかけ声と共に五差路周辺を練り歩く担ぎ手衆！



力を振り絞って頑張りました



ふるさとまつり



射的、金魚すくい、とんちん館は子どもたちでいっぱい！



多くの家族連れがふるさとおまつりを楽しみました



懐かしい縁日や、食べ物の出店が軒を並べました！



フアファには長い列ができました



無農薬野菜を販売したつべつべGROW



9月9日、10日の両日、津別神社近くの町道を会場に16回目のふるさとまつりが開催され、多くの町民が秋の祭りを楽しみました。
会場内は、町内の商店や職場などによる手作りの出店や、実行委員会によるお面やダーツなどの縁日コーナーが、42店軒を並べ、フアファや巨大迷路などで元気に遊ぶ子どもたちの声が夜遅くまで響いていました。
10日は、あいにくの雨模様でしたが、津別神社秋季例大祭のみこしと子どもみこしや駒踊りが町を練り歩き、五差路には黒山の人だかりができていました。

